

船舶事故等調査報告書

平成24年2月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011門第74号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年5月28日 03時30分ごろ	
発生場所	大分県臼杵市深江漁港北方沖 大分県津久見市所在の楠屋埼灯台から真方位285°3,430m付近 (概位 北緯33°08.0′ 東経131°52.7′)	
事故等調査の経過	平成23年5月30日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 千佳丸、2.8トン	
船舶番号、船舶所有者等	OT3-49451（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	船底外板に亀裂、機関及び航海計器類が濡損	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、雨により視界不良の状況下、操業を終えて臼杵市風成に向けて手動操舵により帰航中、平成23年5月28日03時30分ごろ深江漁港北方沖の浅所に乗り揚げた。</p> <p>船長は、本事故発生場所付近に浅所が存在していることを知っていたが、船位を確認せずに航行した。</p> <p>本船は、乗揚後、船長が、浸水による沈没のおそれを感じて救援を依頼し、来援した僚船及び付近を航行中の船舶にえい航されて帰航中、05時00分ごろ浸水して船尾から沈没した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 雨、風向 北東、風力 1</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の末期</p>	
その他の事項	<p>本船は、レーダー及びGPSを装備していた。</p> <p>本船の喫水は、船首約1.0m、船尾約1.5mであった。</p> <p>本船は、救命胴衣を搭載していたが、船長は着用していなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、深江漁港北方沖を南西進中、船長が、船位の確認を行っていなかったことから、いつもより、陸岸に接近していることに気付かずに航行し、深江漁港北方沖の浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、夜間、本船が、深江漁港北方沖を南西進中、船長が船位の確認を行っていなかったため、深江漁港北方沖の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	